

## 中国 5 県休眠預金等活用事業 2021

### 公 募 結 果

#### ■ 概要

選考結果	不採択
団体名	特定非営利活動法人ゆや棚田景観保存会
代表者名	大田 寛治
申請事業名 主題	後畑の棚田の再生と持続可能な地域づくり
申請事業名 副題	棚田の活用と地域活性化のための持続可能な仕組みづくり
エリア／テーマ	【山口県】 地域に関わる若者や移住者、地域住民が暮らし続けられるコミュニティづくり
解決すべき社会課題	JANPIA の 7 テーマのうち該当するものを残し、他は消してください。 ⑥ 地域の働く場づくりの支援 ⑦ 安心・安全に暮らせるコミュニティづくりへの支援
申請事業の概要	○『目指すべき姿』 ・棚田景観の維持と耕作放棄地の再生棚田の拡大を行い、棚田の景観と環境を活用した活動を行うことで棚田の魅力を広く発信することで交流人口が増えて活力ある地域になる。 ・圃場を増やし製造環境を整備することで生産力と品質を向上して売上を向上する。 ・収益の向上により報酬をもらいながら保存活動をおこなえる雇用を創出する。 ・景観と環境の魅力を感じて移住したいと思う人を増やし地域の活力を創生する。 ・事業的にも精神的にも移住者のよりどころになる場所としての活動が行える。 ・棚田景観保存を通じてだれもおき去りにしない地域社会を創造する。 ・北浦地域の飲食店や観光施設に対して広くハーブを供給して北浦をハーブで有名なエリアにする。 ○『実施する活動』 ・農業倉庫を活用した店舗の設置とキッチンカーの導入。 ・生産量増加のため加工製造所を設置し生産設備を整備する。 ・支援者や移住者が短期中期的に宿泊できるゲストハウスを整備する。 ・棚田の花段を利用したワークショップや体験活動を推進する。
事業実施地域	山口県長門市油谷後畑

申請事業期間	(開始月)2022年4月～(完了月)2025年2月
申請助成額	20,980,000円 【内訳】直接事業費 19,925,000円、管理的経費 75,000円、評価関連経費 980,000円

## ■ 審査コメント

- ✓ これまでの取組実績があり、棚田の作付けと景観保全という目的も明確である。
- ✓ 他方、ボランティアでの取組体制が活動継続の課題でありながら、今回、その部分には一切手をつけておらず、また本事業後の事業収入の見通しも全く見えないということには大きな違和感がある。
- ✓ 本気で活動継続できる体制づくりに取り組むのであれば、しっかりボランティアでの取り組み体制から仕事として取り組める体制への転換を前提に、事業内容の見直しを行ってほしい。また取組内容が広範で、例えば加工販売事業に焦点を置くとか、移住者兼担い手確保のための雇用体制づくりに焦点を置くとか、絞り込んだ方がよいと考える
- ✓ また季節限定で農業倉庫を利用することについても、十分な顧客満足が得られるか、不明瞭。
- ✓ 組織としても、事業内容も少々おぼつかないが、農業遺産として文化遺産として残せる最終段階に来ているように思える。今しかない！ということで、次代に繋ぐことが出来るなら、『今しかない』と薦めたい。既に指摘があるように、外部から中小企業診断士や、地元の商工会加盟で商工会の経営指導員さんの指導も日常的に助言を受けることが出来、数字にはめっぽう強く、観光、中小企業向けの制度など今後の発展段階でプラスなることも期待される。
- ✓ 各メディアやSNSでも注目されており、施設の集客力を踏まえ、事業を進めるとの観点でのベースは構築されていると考える。
- ✓ 棚田を存続させ、棚田を中心とした観光事業で収益をあげる構造と受け止める。
- ✓ 2019年の全国棚田サミットを契機に各地区にて認知度や取組み強化が進められていると推測するが、休眠事業とのリンクが整理できないと感じる。
- ✓ 棚田の保存に関しては全国各地でも様々な取り組みが展開されていることがうかがえるが、そのゆな他地域の事例を参照しながら、持続可能に向けた新たなしくみづくりをもう一步踏み込んで企画されるとよかった。